

単元名 情報社会を生きる ―メディアを比べよう

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 情報メディアの特徴を、表や図などにまとめることができる。
 (2) 適切な情報を得るためには、メディアの特性を捉え、発信者や配信日時、その文章が書かれた目的などを確認することが重要であると気付くことができる。
 同一の話題について書かれた複数の情報メディアを比較し、それぞれ特徴について考えることができる。
 目的や状況に応じて
 どのようなメディアで情報を集めたらよいか、考えることができる。
 (3) 粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとする。

標準的な展開例

11210113_001

【準備等】さまざまな種類の辞書

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 メディアを比べて、特徴を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 様々なメディアの特徴を知り、情報を比較しよう。 ○ p. 60～61に示されたさまざまなメディアを「速報性」「詳細さ」「信頼性」の三つの観点で比較し、その根拠を話し合う。 ○ メディアからどのように情報を得ているのか考える。 ○ メディアの特徴についてノートにまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ テレビの長所と気を付けるべき点について ・ 新聞の長所と気を付けるべき点について ・ インターネットの長所と気を付けるべき点について <p>2 目的や状況に応じたメディアの選び方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 目的や状況に応じたメディアの選び方を考えよう。 ○ 「やってみよう」(p. 62)に取り組む。 ○ まとめたことを発表する。 ○ 大きな災害を想定し、状況に応じてどのようなメディアを選ぶとよいかを考える。 ○ 学習を振り返る。 <p>3 情報を受け取る時の留意点を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までの内容を振り返る。 ○ 本時の学習課題をつかむ。 ★ 情報を受け取る時の留意点を考えよう。 ○ 「『自分で考える時間』をもとう」(p. 64)を通読する。 ○ ニュースがどのように編集されているかについて、具体例を基に考える。 ○ 考えた内容をグループで発表し合う。 ○ 学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ おおまかな学習の流れについて説明する。 ・ 複数の辞書を引き、媒体、伝達手段、中間、などの意味があることを伝える。 ・ 朝刊の一面トップの記事を紹介し、どのようにしてその情報を入手したか発表させる。 ・ メディアの特徴について図式化すると、共通点、相違点を考えやすくなる。 【評】メディアの特徴をまとめる活動を通して「知識・技能」を評価する。 ・ テレビ、インターネット、新聞における記事の伝え方について、同じ題材で比較ができるよう、準備しておく。 ・ それぞれの場合に適したメディアの種類を、ノートにまとめさせる。 【評】メディアの種類を考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 前時で学習したことも踏まえて、学級の意見を一つにまとめていく。 ・ 東日本大震災において、通信や出版設備に被害が出たことに触れ、状況に応じて使用できるメディアに制約があることを理解させる。 【評】メディアの種類に対する自分の考えをまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・ メディアにはそれぞれどのような特徴があったか、今後のメディアとの付き合い方について振り返りをさせる。 【評】ニュースの編集の仕方を考える活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ どんな情報も、発信者によって編集されたものであることを理解させる。

【備 考】

この単元では、情報化の進展する社会の中で、情報を疑い、適切に読み解く方法を実践を通して学ばせたい。図や表、グラフと文章を関連付けて読む方法、多様なメディアを活用した情報収集の方法、実用的な文章の読解や新聞記事の比べ読みの仕方などを身に付けさせることをねらい、展開していく。